

2021年2月期 第1四半期 決算補足資料

2020年6月30日

A D A S T R I A
— *Play fashion!*

目次

I. 2021年2月期 第1四半期業績

・ 連結損益計算書	3	・ 海外事業	9
・ アダストリア単体	5	・ 中国事業の状況	10
・ WEB事業	6	・ 連結貸借対照表	11
・ 自社EC強化の取り組み	7	・ 店舗数	12
・ 顧客接点の拡大	8	・ 新型コロナウイルス感染症拡大の 影響	13

I . 2021年2月期 第1四半期業績

連結損益計算書

(百万円)

	2020/2期 1Q		2021/2期 1Q		
	実績		実績		
		構成比		構成比	前年同期比
売上高	56,290	100.0%	33,267	100.0%	59.1%
アダストリア単体	50,303	89.4%	28,444	85.5%	56.5%
国内子会社 *1	3,668	6.5%	3,063	9.2%	83.5%
海外子会社 *2	3,123	5.5%	2,551	7.7%	81.7%
売上総利益	32,882	58.4%	17,683	53.2%	53.8%
販管費	27,660	49.1%	22,441	67.5%	81.1%
広告宣伝費	2,127	3.8%	1,932	5.8%	90.8%
人件費	9,754	17.3%	8,923	26.8%	91.5%
設備費	10,270	18.2%	7,394	22.2%	72.0%
のれん償却費	48	0.1%	39	0.1%	82.3%
その他	5,459	9.7%	4,152	12.5%	76.1%
営業利益	5,221	9.3%	▲ 4,758	-	-
アダストリア単体	4,964	-	▲ 4,274	-	-
国内子会社 *1	235	-	▲ 214	-	-
海外子会社 *2	▲ 270	-	▲ 488	-	-
アダストリア・ロジスティクス	183	-	207	-	113.2%
経常利益	5,119	9.1%	▲ 4,822	-	-
純利益	3,267	5.8%	▲ 3,681	-	-
EBITDA	6,863	12.2%	▲ 3,182	-	-
減価償却費	1,593	2.8%	1,536	4.6%	96.4%
のれん償却費	48	0.1%	39	0.1%	82.3%

*1：(株)BUZZWIT・(株)エレメントルール・(株)ADASTRIA eat Creationsの単純合算
*2：海外法人(香港・中国・台湾・韓国・米国)の単純合算

<連結損益計算書>

次ページのサマリーをご参照ください。

連結損益計算書

■ 売上高：332億円（前年同期比59.1%）

- ・ 単体：新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛、及び商業施設の休業・営業時間短縮等により大幅減収
- ・ 国内子会社：エレメントルール社は単体と同様に実店舗の休業により減収、一方でEC専業ブランドのBUZZWIT社は堅調維持
- ・ 海外子会社：新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて減収

■ 売上総利益率：53.2%（前年同期比▲5.2p）

- ・ 春物商品の在庫消化を図るため、値引き販売の増加で前年同期比低下

■ 販管費率：67.5%（前年同期比+18.4p）金額は前年同期比▲52億円

- ・ 人件費：26.8%（同+9.5p）（同▲8億円）店舗休業に伴う減少
- ・ 設備費：22.2%（同+4.0p）（同▲28億円）賃料減免措置に伴う固定家賃減、変動家賃の減少
- ・ その他：12.5%（同+2.8p）（同▲13億円）カード手数料の減少
出張の自粛やイベント中止等による諸経費の削減
- ・ 各項目とも減収により対売上高比率は上昇したが、金額は減少
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による販管費減少額は約40億円

■ 営業利益：▲47億円

- ・ EBITDA▲31億円
- ・ 単体、国内子会社、海外子会社ともに減益

■ 純利益：▲36億円

アダストリア単体

(百万円)

	2020/2期 1Q	2021/2期 1Q	
	実績	実績	
			前年同期比
売上高	50,303	28,444	56.5%
（既存店前年比）	109.6%	54.9%	-
グローバルワーク	10,634	5,673	53.4%
ニョアンド	7,850	4,275	54.5%
ローリーズファーム	6,146	3,420	55.6%
スタディオクリップ	5,635	3,384	60.1%
レブシム	3,708	2,107	56.8%
売上総利益	29,222	15,005	51.3%
売上総利益率	58.1%	52.8%	▲ 5.3p
販管費	24,257	19,280	79.5%
販管费率	48.2%	67.8%	+19.6p
営業利益	4,964	▲ 4,274	-
営業利益率	9.9%	-	-

出店	13	20
退店	▲ 3	▲ 5
改装	13	19
期末店舗数	1,272	1,241

*1: 単体のれん債却費: 2020/2期1Q: 36百万円、2021/2期1Q: 28百万円

<アダストリア単体 損益計算書>

既存店売上高前期比は54.9%となりました。

売上総利益、販管費、営業利益については、連結損益計算書の説明と重なりますので、説明を割愛させていただきます。

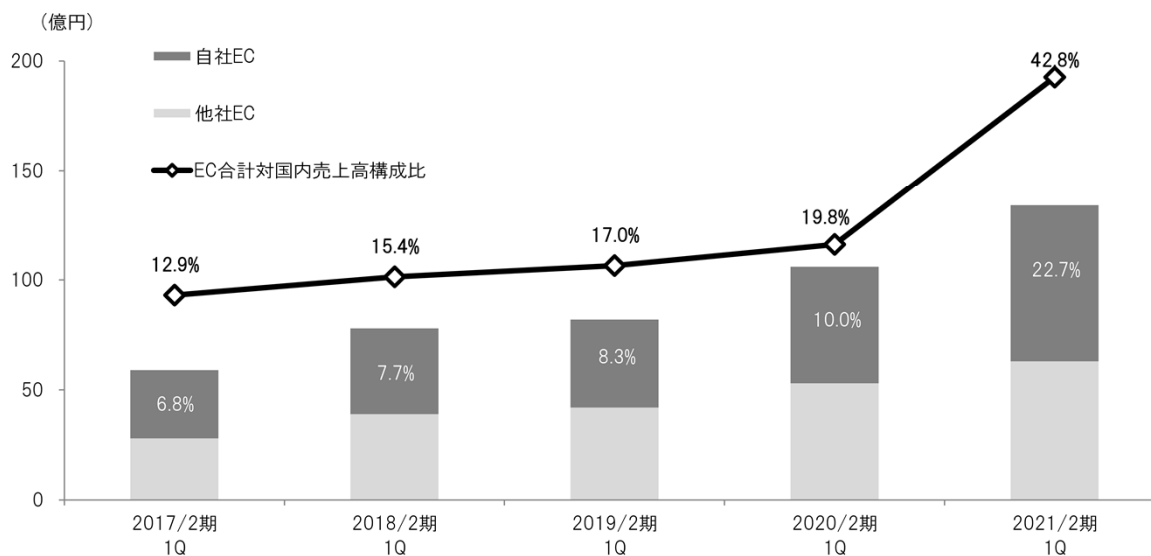
出退店については、20店舗を出店し、5店舗を退店しました。
店舗数の詳細については、12ページに記載していますのでご覧ください。

WEB事業

外出を控えた方の利用増・EC強化の取り組みにより好調に推移

- 国内EC売上高：134億円（前年同期比125.7%）
・ 対国内売上高構成比：42.8%（うち自社EC約22.7%）

- 自社EC ドットエスティ会員数：約1,050万人（前期末比+20万人）



*：2018/2期1Qより、単体に加え、(株)アリスアを合算
*：2019/2期1Qより、単体・(株)BUZZWIT (旧(株)アリスア)に加え、(株)エレメントルールを合算

<WEB事業>

当第1四半期におけるWEB事業の国内売上高は134億円で、外出を控えた方の利用増及び、実店舗休業中のEC強化の取り組みが奏功し、前年同期比125.7%と大幅に伸長しました。

国内売上高に占める比率は42.8%で、そのうちの22.7%が自社ECサイト「ドットエスティ」による売上です。

ドットエスティの会員数は1,050万人で、前期末比20万人増と引き続き増加を続けています。

自社EC強化の取り組み

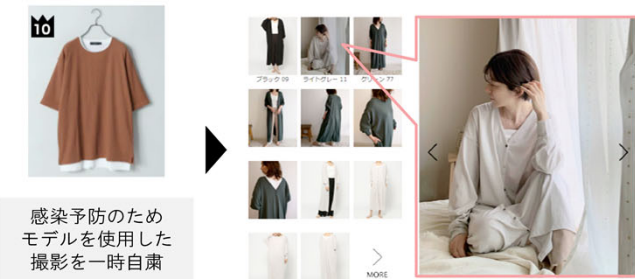
自社の強みを活かし、実店舗休業中に自社ECドットエステに注力

■ STAFF BOARD (スタッフボード) の強化

- ・休業期間中、自宅からスタイリング写真をアップ
- ・選抜スタッフの自宅に商品を届け投稿をサポート
- ・投稿数・経由売上が大幅アップ



＜自宅の室内や廊下などで工夫して撮影し、店舗休業中も投稿を継続＞



＜スタッフ投稿の商品販売ページに横展開、自粛中でも着用イメージを充実＞

■ レビュー投稿へのポイント付与キャンペーン

- ・お客さまからのレビューを増やし、実店舗で商品を手にとって見られない中でも、検討時に参考にできる情報を充実
- ・レビュー投稿件数 前年同期比150%超



＜自社EC強化の取り組み＞

実店舗の営業時間短縮・休業期間中に行った、自社EC強化策の一部をご紹介します。

当社では従来より、店舗で実際に商品を見てからECで購入するという方も多く、外出自粛によりオンラインの情報だけでご判断いただかなければならない状況下、商品の着用感・使用感を分かりやすく伝えるための対応を強化いたしました。

ショップスタッフがスタイリングを投稿する「スタッフボード」では、参加スタッフ数を約1.5倍に増員。

自宅待機中のスタッフへ、EC倉庫から新作商品を届けることでスタイリング投稿が継続できるようサポートを行いました。

感染予防のため、EC撮影スタジオではモデルを使用した撮影を休止していましたが、スタッフの着用画像をECの商品ページにも活用することで、代替しました。

また、実際に商品を購入したお客さまのレビュー投稿を促し、他のお客さまから参考にさせていただくため、レビューを投稿いただいた方へポイント付与を実施。

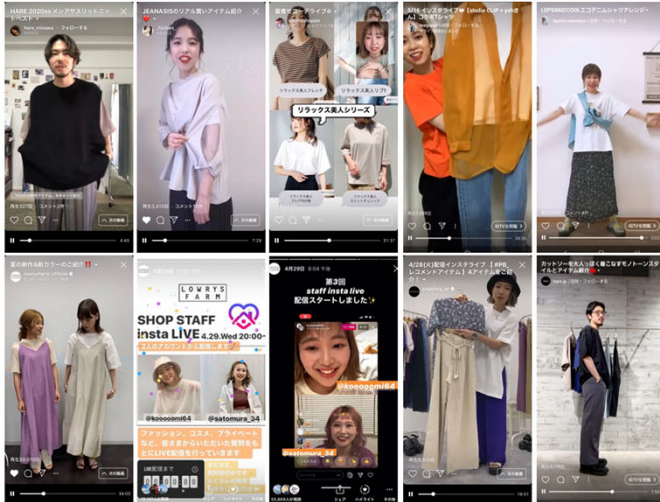
投稿件数は前年比150%以上に伸ばいたしました。

顧客接点の拡大

スタッフ主導でオンライン接客が加速、お客さまとの繋がりを維持・拡大

■進化した新しい接客サービスの形

- ・休業期間中、スタッフ主導でInstagramのLIVE配信を通じたオンライン接客が急増
- ・コメントでいただいたご質問にリアルタイムで回答
- ・アイテムやスタイリングのご紹介、着用感を動画でわかりやすく説明し、ECでのお買い物の不安を解消
- ・過去の配信動画をまとめて閲覧できる「.st CHANNEL」を開設
- ・お客さまとスタッフのつながりを深める新しい接客サービスの場として、今後も継続



<自宅や営業再開後の店舗からLIVE配信し、スタッフがお客さまと直接コミュニケーション>



<「.st CHANNEL」動画内で紹介されたアイテムの商品ページと連動>

<顧客接点の拡大>

また、店舗の休業期間中、ショップスタッフが店舗や個人のInstagramアカウントでLIVE配信を行う、オンライン接客の取り組みが加速いたしました。

コメントでいただいたご質問に、リアルタイムで回答しながら、商品紹介、着回しのご提案など、店頭さながらの接客をオンライン上で行っています。

当初は、ECでのお買い物の不安を解消したいという想いからスタートした取り組みですが、オンライン上でのスタッフとお客さまとの繋がりを維持・拡大する新しい接客サービスの場として、店舗の営業再開後も広がりを見せています。

海外事業

(百万円)

(海外現法単純合算)	2019/12期 1Q	2020/12期 1Q		
	実績	実績		
		前年同期比 (円ベース)	前年同期比 (現地通貨ベース)	
売上高	3,123	2,551	81.7%	82.6%
香港	884	605	68.5%	68.6%
中国	149	181	120.9%	126.4%
台湾	623	616	98.9%	97.7%
韓国	278	169	60.9%	65.2%
米国	1,186	978	82.4%	83.4%
営業利益	▲ 270	▲ 488	-	-
香港	▲ 113	▲ 126	-	-
中国	▲ 92	▲ 111	-	-
台湾	39	▲ 16	-	-
韓国	▲ 51	▲ 73	-	-
米国	▲ 53	▲ 160	-	-

*: 米国のれん償却費: 2019/12期1Q: 6百万円、2020/12期1Q: 6百万円

- 香港・台湾・韓国・米国では、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により減収減益
- 中国では、2019年末にオープンした「ニコアンド」の上海旗艦店が1月の売上が好調
2月から3月にかけて新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少したが、
3月下旬以降は徐々に通常に戻り、第1四半期は前年同期比増収

<海外事業>

円ベースの売上高は、前年同期比81.7%となる25億円、営業損失は▲4億円となりました。

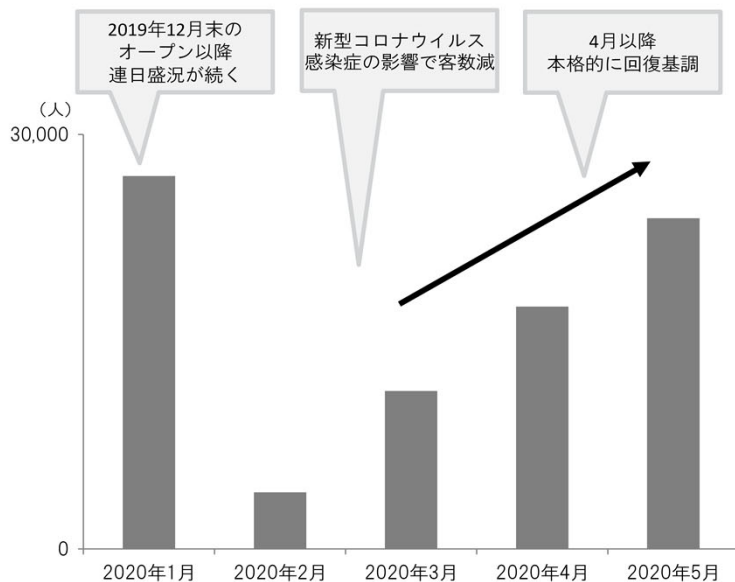
香港・台湾・韓国・米国では、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により減収減益でした。

中国では、2019年末にオープンした「ニコアンド」の上海旗艦店が健闘し、第1四半期は前年同期比増収となりました。

中国事業の状況

ニコアンド上海旗艦店が好調に推移

中国ニコアンド上海旗艦店 客数推移



<中国事業の状況>

ニコアンド上海旗艦店では、昨年12月のオープン直後から今年1月にかけて計画を上回る盛況が続いておりました。

2月から3月にかけては、新型コロナウイルス感染症の影響により集客が大きく落ち込みましたが中国国内の経済活動再開に合わせ、上海市街の人出も徐々に平常に戻りつつあり、4月以降の客数は大きく回復しております。

連結貸借対照表

(百万円)

	2019年5月末		2020年2月末		2020年5月末			
		構成比		構成比		構成比	2019年5月末比 増減額	2020年2月末比 増減額
流動資産	50,466	52.3%	53,234	54.4%	46,771	49.9%	▲3,695	▲6,463
現預金	17,321	17.9%	26,462	27.0%	14,303	15.3%	▲3,018	▲12,158
棚卸資産	17,901	18.5%	15,008	15.3%	20,746	22.1%	+2,844	+5,737
固定資産	46,088	47.7%	44,689	45.6%	46,936	50.1%	+848	+2,246
有形固定資産	15,781	16.3%	15,265	15.6%	15,121	16.1%	▲660	▲144
のれん	599	0.6%	478	0.5%	437	0.5%	▲162	▲40
投資その他資産	24,182	25.0%	23,146	23.6%	25,387	27.1%	+1,204	+2,241
総資産	96,555	100.0%	97,924	100.0%	93,707	100.0%	▲2,847	▲4,216
負債	41,635	43.1%	40,883	41.7%	41,383	44.2%	▲252	+499
有利子負債	2,333	2.4%	0	0.0%	5,000	5.3%	+2,666	+5,000
純資産	54,919	56.9%	57,041	58.3%	52,324	55.8%	▲2,594	▲4,716
自己株式	▲4,426	▲4.6%	▲4,372	▲4.5%	▲4,244	▲4.5%	+181	+128

- 現預金 : ネットキャッシュは前年同期末比56億円の減少
- 棚卸資産 : 店舗休業などの影響で在庫が増加し前年同期末比115.9%
- 投資その他資産 : 繰延税金資産の計上などにより前年同期末比12億円の増加
- 純資産 : 純資産比率は55.8%、前年同期末比▲1.1p

<連結貸借対照表>

営業キャッシュフローの減少及び短期借入金増加により、2020年5月末のネットキャッシュは93億円、前年同期末比で56億円減少しました。

店舗休業などの影響で在庫が増加し、5月末の棚卸資産は連結ベースで前年同期末比115.9%の水準となりました。

繰延税金資産の計上などにより、投資その他資産は前年同期末比12億円増加しました。

純資産は523億円、純資産比率は55.8%と前年同期末比▲1.1Pとなりました。

店舗数

	2020/2期	2021/2期 10末				
	期末 店舗数	吸収分割 *2	出店	変更	退店	期末 店舗数
グローバルワーク	210	-	1	▲ 1	0	210
ニコアンド	144	-	1	0	0	145
ローリーズファーム	136	-	0	0	0	136
スタディオクリップ	183	-	2	0	0	185
レブシム	128	-	0	0	0	128
ジーナシス	73	-	0	0	0	73
ペイフロー	54	-	2	0	0	56
レイジブルー	54	-	1	0	▲ 2	53
その他	247	▲ 3	13	1	▲ 3	255
アダストリア合計	1,229	▲ 3	20	0	▲ 5	1,241
(うちWEBストア)	(54)	(▲ 2)	(10)	(0)	(▲ 1)	(61)
国内子会社合計 *1	86	3	6	0	▲ 3	92
(うちWEBストア)	(16)	(2)	(4)	(0)	(0)	(22)
国内合計	1,315	-	26	0	▲ 8	1,333
(うちWEBストア)	(70)	-	(14)	(0)	(▲ 1)	(83)
香港	16	-	0	0	0	16
中国	1	-	0	0	0	1
台湾	37	-	0	0	0	37
韓国	13	-	0	0	▲ 2	11
米国	10	-	0	0	0	10
海外合計	77	-	0	0	▲ 2	75
(うちWEBストア)	(13)	-	(0)	(0)	(0)	(13)
連結合計	1,392	-	26	0	▲ 10	1,408
(うちWEBストア)	(83)	-	(14)	(0)	(▲ 1)	(96)

*1：(株)BUZZWIT・(株)エレメントルール・(株)ADASTRIA eat Creationsの単純合算

*2：2020年3月より、パティエラ事業合計3店舗を(株)アダストリアから(株)エレメントルールに移管

<店舗数>

当第1四半期末の店舗数は、国内1,333店舗、海外75店舗で、
グループ連結では1,408店舗（うちWEBストアが96店舗）となっております。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響

	営業状況	1Q 売上高前年同期比												
アダストリア 単体 (3~5月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月は実店舗の約9割で1~2時間の短縮営業を実施 ・ 4月上旬までに約半数が休業 ・ 4月25日~5月7日までの期間、1,179店舗全店が休業 ・ 5月末日時点で約8割の1,008店舗が営業再開（6月3日全店舗営業再開） <p>・ 外出を控えた方の利用増によりEC販売が伸長</p> <div style="text-align: center;"> <p>単体売上高既存前年比</p> <table border="1"> <caption>単体売上高既存前年比</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>全体</th> <th>うちEC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020年3月</td> <td>75.8%</td> <td>110.8%</td> </tr> <tr> <td>2020年4月</td> <td>32.2%</td> <td>118.2%</td> </tr> <tr> <td>2020年5月</td> <td>55.2%</td> <td>148.8%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	月	全体	うちEC	2020年3月	75.8%	110.8%	2020年4月	32.2%	118.2%	2020年5月	55.2%	148.8%	<p>▲218億円 56.5%</p>
月	全体	うちEC												
2020年3月	75.8%	110.8%												
2020年4月	32.2%	118.2%												
2020年5月	55.2%	148.8%												
国内子会社 (2~4月)	<p>【エレメントルール】単体と同様 【BUZZWIT】EC専業ブランドとして堅調維持 【ADASTRIA eat Creations】店舗休業（6月以降再開）</p>	<p>▲6億円 83.5%</p>												
海外子会社 (1~3月)	<p>【香港・中国・台湾】全店舗営業時間短縮（4月以降通常営業） 【韓国】全店舗営業時間短縮（5月以降通常営業） 【米国】3月中旬より全店舗休業、ECは堅調に推移</p>	<p>▲5億円 81.7%</p>												
		<p>合計▲230億円 59.1%</p>												

新型コロナウイルス感染症拡大の影響

	1Qの影響及び対応	今後の対策
サプライチェーン	<ul style="list-style-type: none"> 工場休業により春物の一部に2週間程度の遅れ 3月下旬から工場が稼働再開、納品スケジュール正常化 	<ul style="list-style-type: none"> 生産国のさらなる分散化に向けて一部を中国からASEANへ移行 生産管理の現地化推進
在庫	<ul style="list-style-type: none"> 取引先保護の為、通常取引の範囲を超えたキャンセルは実施せず 春物商品の在庫消化を強化、夏物商品の仕入れを抑制 2Q末までに適正な在庫水準となる見通し EC物流センターの臨時増員・増床 	<ul style="list-style-type: none"> 秋冬物商品の仕入れを抑制 適時・適価・適量の仕組みの安定運営
経費	<ul style="list-style-type: none"> 休業期間中の家賃減免 出張の自粛やイベント中止等による諸経費の削減 変動費も含め、販管費は前年同期比で約40億円減少 	<ul style="list-style-type: none"> 予算見直し、不要不急の支出を削減
投資・財務	<ul style="list-style-type: none"> 出退店・改装後ろ倒し 	<ul style="list-style-type: none"> 投資計画を見直し、ECとデジタル分野の投資を優先 納税を猶予する特例制度を申請予定
その他	<ul style="list-style-type: none"> 店舗休業に合わせて期間雇用者への休業補償実施 本部テレワークを実施 	

2021年2月期連結業績予想について

- 新型コロナウイルス感染症の拡大懸念が収まらない中、商業施設の再休業等の恐れに加え、外出自粛の動きや生活様式の変化により、経済活動や消費マインドの回復の動向は極めて見通しづらい状況
- 2021年2月期の連結業績予想については、現段階では合理的に算定することが困難と判断し、未定とする

業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

その他留意事項

資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は元データから算出しております。

A D A S T R I A

—

Play fashion!